

整形外科領域における AI の進歩

(企画：中原龍一)

X 線画像を基盤とした AI 骨粗鬆症診断補助システムの現状と展望

—スクリーニング・診断のパラダイムシフトを目指して……………茂 呂 徹ほか
側弯症領域における AI 活用の最新動向と今後の展望……………加 藤 修 三ほか
AI を用いた CT による筋骨格・軟部組織評価……………上 村 圭 亮ほか
姿勢推定 AI および超音波画像解析を用いた投球肘障害診断支援モデルの開発…乾 淳 幸
われわれは超音波診断装置で神経を的確に読影できているのか

—AI による神経同定の有用性の検討……………宮 武 和 馬ほか
AI を使用した歩行解析の現状……………角 家 健
大規模言語モデルの医療利用に関する展望と課題……………藤 田 浩 二ほか
XR（拡張現実）の臨床応用—VR からメタバースまで……………長谷井 嬢
国産大規模言語モデル開発の現状……………品川政太郎
大規模言語モデルにおける半導体の課題と解決技術……………吉岡健太郎

—Personal View—

長い間その人を慰め、励まし、絶望から立ち上がらせる言葉……………森 本 忠 嗣

—整形外科 名人の know-how—

人工骨幹置換術 update—適応から最新デバイス、手術手技まで……………今 西 淳 悟ほか

—新しい医療技術—

ナノクレイを用いた次世代 BMP 骨組織再生……………古 市 拓 也ほか
その他、臨床、経験、症例など
(都合により、掲載論文が変更になる場合がありますので御了承下さい。)